

# 振興会だより よしだ

2015年(平成27年)  
8月20日発行  
第34号  
吉田地区振興会

7月18日(土)の午後5時から吉田運動公園で第32回一心祭りが盛大に行われました。



が、幸いにも私達の地区では被害もなく、大勢の方々には楽しんで頂くことが出来ました。ステージでは、吉田幼稚園・吉田保育所など17の団体が練習の成果を発表され、最後は伝統の百万一心盆踊り・武者絵巻、そして地域や団体・事業所などみんなで輪になって国際色豊かに一心節踊りを踊りました。

今年は早くから大型で強い勢力の台風11号が西日本を縦断するとの予報から、開催が危ぶまれていました。来年もお楽しみに。



毎年大盛況の飲食い広場。今年の吉田地区は焼き鳥で頑張りました。



ステージやテントを組む丹比・可愛・郷野・吉田地区のスタッフの皆さん。汗だくで「心をついにした祭り」が既に始まっています。

最後になりましたが、スタッフの皆さん、ステージ発表された皆さん、有難うございました。

## バザーに参加して

台風も去り、予定通り祭りの本番を迎えることが出来ました。吉田地区の今年のバザーは焼き鳥が担当で、お手伝いをさせて頂きました。私は初めての参加で少し不安でしたが、皆さんがとても親切に教えてくださり楽しくさせて頂きました。

焼き鳥は行列ができるほどの人気で、19時35分頃には完売するという売れ行きにビックリしました。お客様の「美味しかったよ」の声にはいつい顔がほころびました。

今年は女性部の副部長をさせて頂いているのですが、沢山の方々と交流をもち、色々な経験をしたいと思えます。これからもよろしく願います。

常友 花岡礼子



### 第11回 歴史探訪 瀬戸内しまなみ海道 史跡めぐり

毛利氏ゆかりの地を訪ね歩く歴史探訪は、今回で11回目を迎えました。85名の参加者により、大型バス2台に分乗し好天に恵まれた6月7日、実施することが出来ました。

今回の企画は、毛利元就が、中国地方の支配権拡大に成功した重要な鍵となる厳島の戦い。陶軍の2万余りの軍勢に対して、毛利軍は3千余りと数的には圧倒的に劣っていた。

しかし、毛利軍の作戦は第一に狭い厳島に陶軍を追い込み動きを封じ込める事。第2に毛利水軍のみならず、伊予の村上水軍に援助を求めた事であった。悪天候の日の作戦は成功し、陶晴賢は自害に追い込まれた事は、みんなよく知っている事である。その村上水軍のゆかりの地を訪ね歩くのが今回の目的であった。これまで、因島は遠い地と思っ

軍城まで、1時間余りで着く事が出来ました。



山頂にそびえる因島水軍城

**因島水軍城**  
長く厳しい登り階段を、手すりを頼りに登って行った所が、因島水軍城である。ガイドさんは、文化教育部長のお知り合いの方であった。

因島村上水軍城は、歴史家奈良本辰也氏監修により建設された。因島村上が中国から持ち帰った釈迦の涅槃図や、小早川隆景より拝領された武具や、水軍ゆかりの古文書等歴史資料が、多数展示されている。特に六代当

主は厳島合戦で毛利氏に加勢し、勝利をもたらした。



**村上水軍博物館**  
しまなみ海道に浮かぶ大島の宮窪に立っている博物館である。能島村上氏についての資料が展示され、展望台からは目の前に浮かぶ能島をのぞむことが出来る。村上氏は、海の大名と称されたように、3つある村上氏の中で最も力を有したのが能島である。

ガイド岡野さんの説明に聞き入る参加者の皆さん



ガイド岡野さんの説明に聞き入る参加者の皆さん

### 大山祇神社

神社は、日本総鎮守と呼ばれ、境内中央の神木は、樹齢約二千六百年であること、その昔は水軍の武将たちの信仰を集めたこと等を、昼食処のガイドさんから説明をいただいた。参加者の一部の方は社殿南に位置する宝物館も見学された。

### 伯方の塩大三島工場

当日は、日曜日であったため機械の一部しか稼働していなかったが、製塩する工程を見学できた。帰りには、伯方の塩や、美溶液を購入する事が出来ました。

### よしうみバラ公園

世界各地のバラ四百種三千五百株が植栽されているが、訪れたときは見頃の時期が少しずれていて、みんな残念しきりであった。しかし、帰路の途中では、新しくできた、世羅の道の駅に寄る事ができ、好評の中、全日程を終えることができました。参加者、部員の方々のご協力に感謝申し上げます。  
(文化教育部長 弓戸勝幸)

新しい役員体制が決まりました

4月の総会及びその後の各部会に於いて振興会事業の運営に係わる役員体制が決定しました。2年間、よろしく願います。

総務部長	(兼)今田基良
環境福祉部長	佐々木公人
産業観光部長(兼)水重克幸	
文化教育部長(兼)弓戸勝幸	
体育部長	隅田克良
女性部副部長	小田明子
事務局長	(兼)隅田克良
事務局員	山根孝浩
岡島 勤	
山中 章	
岡本充行	
下瀬秋穂	
竹内正樹	
竹本繁行	
村田栄一	
相川辰子	
津賀山とし子	
吉田信子	
監 会	
計 事	

事務局長の選任について

事務局長は吉田地区振興会規約第8条第4項に於いて会長が総会で推薦し、承認を得ることになっていますが、平成27年度の総会時には空席で承認を得ることが出来ず、後日選任するということが決まりました。

しかし、事務局長職は重要で長期間の空席は事業に支障をきたします。よって、総会を招集せず、この紙面をお借りして五丁目の隅田克良さんを推薦し、皆様にご承認を頂きたく思います。簡略的な方法かとも思いますがご理解を頂き、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

町内一斉清掃

7月5日の第一日曜日、朝7時頃から鍬や草刈機の音が聞こえて来た。合併前の『吉田町』時代から続いている恒例の町内一斉清掃の日である。今は振興会が呼びかけている。ただ掃除をして終わりという

のでなく、汗をかいた後は、冷たい飲み物を飲み交わしながら地区内の交流を深めておられる所が沢山有る。



こういつた機会を上手く利用して、更に太い絆となるよう末永く続けていきたいですね。

上迫地区振興会では、毎年清掃終了後きらりてグラウンドゴルフを行い、その後大通院谷公園で親睦会を行います。みんな和気あいあいです。



今後の行事予定(12月末まで)

- 9月13日(日) 敬老会
- 9月27日(日) グラウンドゴルフ大会
- 10月29日(木) まちづくりリーダー研修
- 11月15日(日) グラウンドゴルフ  
チャンピオン大会
- 11月 中旬 ボランティアロード
- 12月12日(土) 友愛訪問



三矢タウンでは、公園で子ども達も含め大人数で焼肉やゲームなどを行いました。今年も大盛況です。

### 歴史のまちにひたる

#### 吉田の市入り祭

三丁目・四丁目振興会

(年番組)

5月5日の子どもの日、晴天に恵まれ市入り祭が盛況のうちに開催され、多くの観衆が楽しい一日を過ごした。



だんじり屋台 八雲山 での熱演

今年も主役を務めたのは千歳山・八雲山のだんじり屋台で、吉田中学2年生8名が演じた「子ども歌舞伎」であった。演技が決まる都度、沿道から惜しみない拍手が送られていた。中学2年生は放課後や休日を

返上して数週間に及ぶ特訓を耐え抜き、その成果を存分に発揮することができたのである。



中学一年生の神輿の行列

また神輿の行列はこの4月に入学ほやほやの、まだあどけない中学1年生の男女30数名で編成され、町内各所のお旅所をはしやぎながら巡り歩いていった。

そして催し物では、TP会主催の「飲み食い広場」や「武者との記念撮影会」「新鮮野菜市場」「お茶席」「フリーマーケット」等が集客アップに貢献した。更に、恒例の子ども向けイベント

トとして商工会青年部主催の「ストラックアウト」や「ゆらゆらコイン落とし」が行われ、水中に落とされたコインが、受け皿に入ると「ヤッター」と甲高い声がいっつもでも聞こえていた。



振興会としてお手伝いされた皆さん

最後になりましたが、交通整理とだんじり屋台の引き手として今年も吉田地区振興会から多数の応援を頂きました。お陰様

で市入り祭も無事終了することができました。有難く厚くお礼を申し上げます。

### 編集後記

家の軒にツバメが巣を作りヒナが孵った。10年ぶりか。

初めは巣を作らないように追っ払っていたが、3日間留守にしていたら立派な巣が出来て親鳥が中に入っていた。今更追っ払う訳にはいかないので「よし」とした。なぜ追っ払うのかと言うと、以前2年続けて巣が蛇に襲われた。巣にぶら下がっている蛇を見ると胸がひょうたんの様に2か所膨らんでいた。親鳥もこんな事になるなんて予想もしていなかったであろう。

しかし、なぜ蛇は壁を登ったり天井を這ったり出来るのか・・・？ 災害は、予想もしていなかった時や場所で起こる。新聞に「災害は忘れたころにやってくるのでなく、忘れるからやってくる。」と載っていた。

平素から「もしか・・・」の時の事を心の片隅に留めておき、いつでも行動できるようにしておきたいものだ。



ツバメよ、頼むから早く飛び立っておくれ！  
今田基良